

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【公開番号】特開2010-193358(P2010-193358A)

【公開日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-035

【出願番号】特願2009-37885(P2009-37885)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 27/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/232 B

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/76 E

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/91 J

G 1 1 B 27/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述の目的を達成するために、本発明の画像制御装置は、プリンタと所定の通信プロトコルを用いて通信し、当該プリンタにプリントジョブを送信可能な画像制御装置であって、画像表示装置と前記通信プロトコルを用いて通信する通信手段と、自動再生ファイルを解析することにより、自動再生すべき複数の画像と、その複数の画像の再生方法とを特定する特定手段と、前記複数の画像を1画像ごとに指定するプリントジョブを生成して、前記特定手段で特定した再生方法に基づいて、生成したプリントジョブを順次、前記画像表示装置に送信するジョブ生成手段とを有することを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上述の目的を達成するために、本発明の画像制御装置の制御方法は、プリンタと所定の通信プロトコルを用いて通信し、当該プリンタにプリントジョブを送信可能な画像制御装置の制御方法であって、画像表示装置と前記通信プロトコルを用いて通信する通信工程と、自動再生ファイルを解析することにより、自動再生すべき複数の画像と、その複数の画

像の再生方法とを特定する特定工程と、前記複数の画像を1画像ごとに指定するプリントジョブを生成して、前記特定工程で特定した再生方法に基づいて、生成したプリントジョブを順次、前記画像表示装置に送信するジョブ生成工程とを有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プリンタと所定の通信プロトコルを用いて通信し、当該プリンタにプリントジョブを送信可能な画像制御装置であって、

画像表示装置と前記通信プロトコルを用いて通信する通信手段と、

自動再生ファイルを解析することにより、自動再生すべき複数の画像と、その複数の画像の再生方法とを特定する特定手段と、

前記複数の画像を1画像ごとに指定するプリントジョブを生成して、前記特定手段で特定した再生方法に基づいて、生成したプリントジョブを順次、前記画像表示装置に送信するジョブ生成手段とを有することを特徴とする画像制御装置。

【請求項2】

前記通信プロトコルは、ピクトブリッジであることを特徴とする請求項1に記載の画像制御装置。

【請求項3】

前記自動再生ファイルは、スライドショー表示用のDPOFファイルであることを特徴とする請求項1または2に記載の画像制御装置。

【請求項4】

さらに、通信接続相手の機器が画像表示装置であるか、プリンタであるかを検出する検出手段と、

前記検出手段が画像表示装置と通信していると検出した場合に、記憶媒体にスライドショー表示用のDPOFファイルが格納されているかを判断する判断手段とを有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像制御装置。

【請求項5】

前記ジョブ生成手段は、前記特定手段で特定された前記再生方法に従った表示タイミングに基づき、前記プリントジョブを前記画像表示装置に送信するように制御することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の画像制御装置。

【請求項6】

前記ジョブ生成手段を用いて実行されるスライドショーを制御するスライドショー制御手段と、画像を含む情報を表示する表示部とを有し、

前記スライドショー制御手段は、

前記検出手段が画像表示装置と通信していると検出した場合に、前記表示部にスライドショー用のメニューを表示することを特徴とする請求項4に記載の画像制御装置。

【請求項7】

前記スライドショー制御手段は、スライドショー再生の開始、一時停止、再開、及び終了を制御することを特徴とする請求項6に記載の画像制御装置。

【請求項8】

前記スライドショー制御手段は、前記表示部に表示するスライドショー用の画像情報の表示状態を制御することを特徴とする請求項6または7に記載の画像制御装置。

【請求項9】

前記スライドショー制御手段により、スライドショー再生が一時停止状態に遷移したときに、前記画像表示装置に対してポーズアイコンの印刷要求を行う手段を有することを特徴とする請求項6乃至8のいずれか1項に記載の画像制御装置。

【請求項 10】

前記スライドショー制御手段により、スライドショー再生が一時停止状態から再生状態に遷移したときに、前記画像表示装置に対して、スライドショー表示用の画像のみを指定した印刷要求を行う手段を有することを特徴とする請求項 6 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像制御装置。

【請求項 11】

前記スライドショー制御手段により制御されるスライドショー用の画像情報の表示状態に応じて、画像情報の印刷要求を行う手段を有することを特徴とする請求項 6 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の画像制御装置。

【請求項 12】

前記スライドショー制御手段の制御によりスライドショー再生を終了したときに、前記画像表示装置に対して印刷中止要求を行う手段を有することを特徴とする請求項 6 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の画像制御装置。

【請求項 13】

前記印刷中止要求の種別にスライドショー再生の終了であることを設定して、前記印刷中止要求を行うことを特徴とする請求項 12 に記載の画像制御装置。

【請求項 14】

さらに、画像データ及び前記自動再生ファイルを記憶する記憶媒体を装着する記憶媒体装着部を有することを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の画像制御装置

。

【請求項 15】

プリンタと所定の通信プロトコルを用いて通信し、当該プリンタにプリントジョブを送信可能な画像制御装置の制御方法であって、

画像表示装置と前記通信プロトコルを用いて通信する通信工程と、

自動再生ファイルを解析することにより、自動再生すべき複数の画像と、その複数の画像の再生方法とを特定する特定工程と、

前記複数の画像を 1 画像ごとに指定するプリントジョブを生成して、前記特定工程で特定した再生方法に基づいて、生成したプリントジョブを順次、前記画像表示装置に送信するジョブ生成工程とを有することを特徴とする画像制御装置の制御方法。